

ブラジルオリンピック選手団の受け入れについて

1 受け入れ競技・期間など

- ・ 受け入れ競技については、ブラジルオリンピック委員会と締結した協定において、7 競技でしたが、大会出場権を獲得できなかったなどの理由により、4 競技となりました。[本市に来なくなった競技：野球、ボート、ラグビー]
- ・ 選手団としての受け入れ人数は、競技団体の 72 人に加え、ブラジルオリンピック委員会のスタッフ 2 人、医療スタッフ 2 人、コミュニケーションスタッフ 3 人の合計 79 人です。

| 競技 | 人数(人) | 期間 | 会場 |
|-----|-------|-------------------|------------------------------|
| ゴルフ | 3 | 7/17～7/23 [7 日間] | レイク浜松カントリークラブ [北区引佐町四方浄 1] |
| 新体操 | 8 | 7/25～7/31 [7 日間] | サーラグリーンアリーナ [浜北区平口 5042-133] |
| 柔道 | 48 | 7/10～7/28 [19 日間] | 雄踏総合体育館 [西区雄踏町宇布見 9981-1] |
| 卓球 | 13 | 7/13～7/21 [9 日間] | 浜松市総合産業展示館 [東区流通元町 20-2] |

計 72

2 市民交流など

- ・ 各イベントのプログラムや市民交流の具体的内容の可否については、静岡県を通じ内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局に確認を行うとともに、ブラジルオリンピック委員会と調整を進めています。
- ・ 練習会場では、観覧席からの練習見学、リモート交流などを中心に、選手と接触することなく交流を深めることができる内容を検討しています。
- ・ また、多くの選手が浜松市から選手村へ出発する日にイベントを開催するほか、競技終了後の「成果報告会」を開催することについても、現在調整を進めています。

3 感染症対策 [ホストタウン等における選手等の受入れマニュアル]

- ・ 合宿期間中、選手の移動は、基本的に専用車両による宿泊施設と練習会場の往復だけであり、宿泊施設及び練習会場も選手団専用の動線を確認し、市民との接触を防ぎます。
- ・ 選手団は、出国に向け 2 回の検査を受け陰性証明を取得するだけでなく、日本入国の際も空港において検査を受け、陰性の者だけが入国を許されます。また、入国後、原則として、検査は毎日受けることが義務付けられています。